

麻布幼稚園だより 12月号

平成27年11月30日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

「周年行事が終わって」

園長 大島 美知代

11月21日、港区立麻布小学校開校140周年と合同で、本園の開園80周年記念式典が終わりました。周年行事に向けて、園児も保護者も教職員も考えを出し合い、園児自身が幼稚園の誕生日を祝い、園児自身の心に感じるものがあるようにと考え、進めてきました。

保護者は「お祝いの会」実行委員長、PTA会長がリーダーシップを発揮し、保護者をまとめました。園児と共に「お祝いの花瓶と花づくり」を行ったり、保護者だけで「みんなのへや」と「廊下」「プレイルーム」を飾ったりしました。現在も本園のあちこちにその飾りは残っており、これからの作品展でも活用したいと思っています。

園児は、3学年の発達に合わせた作り方で「幼稚園の80歳を祝う自分」を作りました。全員がきれいな気球に乗って「廊下の壁面」に飾られ、未来に羽ばたこうとしています。

そして記念式典の前々日には「お祝いの会」と称して、みんなで集まって幼稚園の誕生日を祝いました。お祝いの会実行委員長とPTA会長の話、そして保護者のハンドベルの演奏が心にしみました。演奏曲は「HAPPY BIRTHDAY」、そして保護者のお祝いの出し物として、「おめでとう おやこうんどうかい」で園児が踊った踊りを保護者が踊りました。短い練習期間であったのにもかかわらず、ハンドベル演奏も踊りも完成度が高く、園児たちにも大喝采でした。自分のお母さんが演奏し、自分たちと同じ衣装を付け、一生懸命に踊る姿を食い入るように見て、大喜びでした。この「お祝いの会」は祝賀会とは違い、今年度幸運にも周年行事に出会えた園児、保護者、教職員で作上げた手作りの誕生会でした。この会を開催できたこと、みんなで気持ちを合わせ、何回も考えたり、作り直したり、話し合ったりして、みんなで作り上げた会となったこと、80歳のお祝いにみんなが表現したこと、幼稚園のために、お母さんたちの力も取り入れてできたことは、ここまで作り上げてきた全員の心に「麻布幼稚園に対する熱い思い」があったからだと思います。

これから2学期の最後を飾る「おめでとう」の気持ちを表した『作品展』を行います。ここまで作った作品や、周年にかかわる作品、新たな楽しい作品を展示します。園児の作品は、世界に一つしかない、宝物です。ぜひ足をお運びいただき、ご覧いただきたいと思います。

今年度「80歳おめでとう お祝いの歌」を作って歌いました。作詞は、園児にも手伝ってもらい、作りました。ここでご披露します。麻布幼稚園がこの歌詞のように、これからも良き歴史をつくり、園児が育つ幼稚園であり続けるために、園児に関わる全ての大人が、良き生き方をして、園児のために保護者と共に気持ちを合わせ、一緒に歩んでいきたいと思っています。

1 あざぶようちえん みんなのようちえん
みんなで集まって 楽しく遊ぼう
緑がいっぱい お日様いっぱい 笑顔がいっぱい
みんなで一緒に遊ぼうよ 1・2・3・4
A Z A B U 80歳 おめでとう!

2 あざぶようちえん みんなのようちえん
みんなが声合わせ 元気に歌おう
げんきな子 やさしい子 よくよく考えよう
みんなで一緒に歌おうよ 1・2・3・4
A Z A B U 80歳 おめでとう!

3 あざぶようちえん
だいすき だいすき ようちえん
おめでとう!